

奈良県における道路整備の推進

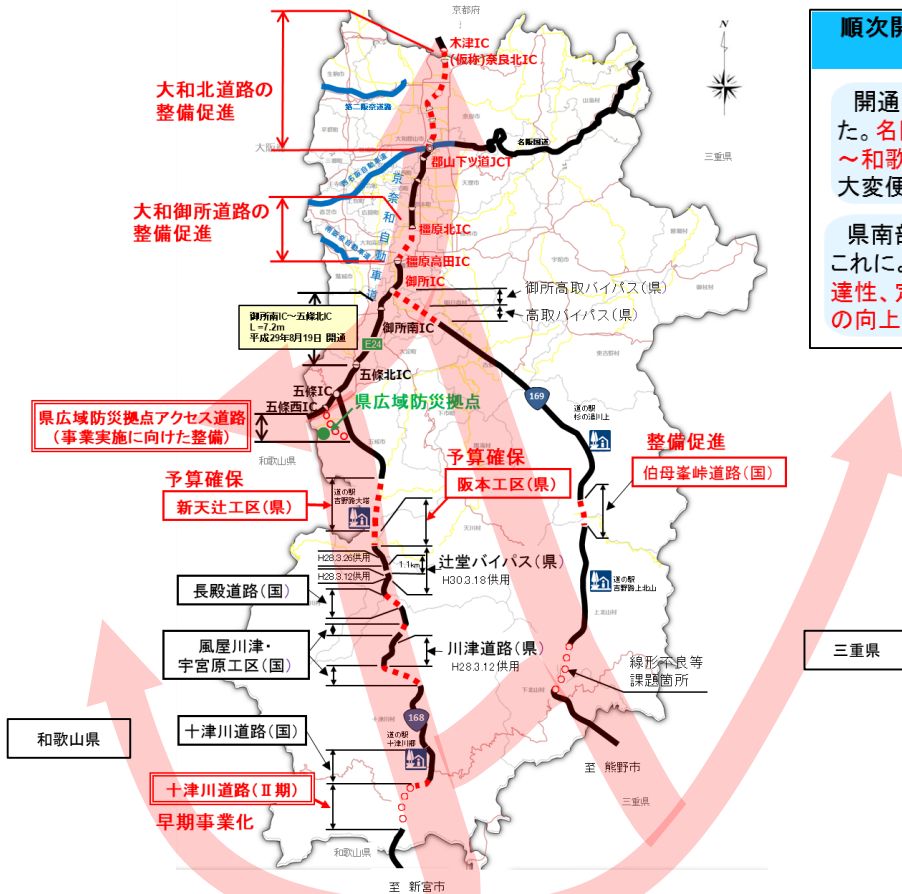
平成30年11月

【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

- **重要物流道路制度の創設を契機とした新たな広域道路ネットワークの構築**
県の将来ビジョンを踏まえ、直轄管理区間はもとより紀伊半島アンカールート等についても、重要物流道路として広域道路ネットワークの重点整備をお願いしたい。
- **名阪国道(天理IC～亀山IC)の検討**
名阪国道は、Ωカーブ区間等の事故危険箇所により死傷事故件数が高く、国の東西軸の最適利用に向けた抜本対策等の検討着手(計画段階評価)をお願いしたい。
- **道路関係予算の確保**
 - 重要インフラの緊急点検を踏まえた防災・減災対策の実施に伴い、県が重点的に取り組む事業が遅れることがないよう、別枠の予算の確保
 - 県の重点施策への財政的支援
骨格幹線道路、無電柱化、老朽化対策
 - 用途を限定しない補正予算の早期編成

◆紀伊半島アンカールートの整備



**順次開通している京奈和自動車道への
運送業界の声**

開通により移動時間が大幅に短縮された。名阪国道から休憩なしで奈良県南部～和歌山県へ運送できるルートができ、大変便利になった。

県南部との集荷・配送が効率化された。これにより、ドライバーの負担軽減や、速達性、定時性の強化によるサービスの質の向上が見込まれる。

【凡例】	
■■■	事業中
○○○	未事業化

◆名阪国道(天理東IC～福住IC)の整備

○死傷事故件数

- ・H16年以降、交通事故対策を集中的に実施し、**Ωカーブ区間の死傷事故件数は半減**。
- ・名阪国道は、全国自専道平均と比べ、**死傷事故件数は2.4倍**と高く、特に **Ωカーブ区間で多く発生**し、2年連続で**大型車事故**により長時間の通行止めが発生。

○名阪国道の大阪～名古屋間の最適利用に向けた検討

- ・広域ネットワークの最適利用に向けた抜本対策等の検討着手(計画段階評価)



経路	大型車混入率 ※ H27センサス	死亡事故発生率 (件/10km・年) ※ H27.1.1～12.31
名神ルート	34% (米原JCT～大山崎JCT)	0.44 (米原JCT～大山崎JCT)
新名神ルート	38% (亀山JCT～草津JCT)	0.39 (亀山JCT～草津JCT)
名阪国道ルート	50% (関JCT～天理IC)	0.55 (関JCT～天理IC)

◆県の重点施策への財政的支援

○無電柱化の推進 ⇒安全で快適な歩行空間の確保と良好な景観形成

- ・県道三輪山線は、日本最古の神社である大神神社への参道。
- ・県と市のまちづくり連携協定を平成26年に締結し、参道の道路空間の無電柱化を位置づけ、まちづくりの根底をなす事業として今年度より工事实施。



(参考) 無電柱化などのまちづくりに関するシンポジウム開催(桜井市)(H30.11.17)

○老朽化対策の推進 ⇒国土強靱化

- ・老朽化対策の予算が近年増加しているが、今後さらに対策が必要なⅢ判定(早期に措置を講ずべき状態)の道路施設が多く存在。(233施設(H29年度末時点))



前鬼橋(国道169号 下北山村)

